

## 新年のごあいさつ

**私**が学んだ中学校では、中学2年生を対象に毎年「立志式」が行われ、子どもが今までの自分を振り返り、将来への決意や目標を保護者や先生に対して発表することで、将来について考える良い機会となっていたことを覚えています。

地域の子どもは、親だけでなく、地域の大人たちが皆で育てていかなければなりません。私は、市長として、一人の大人として、この地域で生まれた子ども達のふるさと舞鶴への愛着と誇りを持つ心を育て、市内全ての中学2年生を対象に、将来の夢や志を持つことの大切さや、自分たちのまちの魅力などを伝える「市長のふるさと舞鶴講義」を行っています。講義を聞いた子ども達の多くが、「舞鶴の印象が変わった」「将来、やりたい仕事や夢を持ちたい」と思った」と感じられており、保護者の方からも、

## 広がる連携・繋がる力で さらなる飛躍を目指す

**あ**けましておめでとうございませう。

皆さまにおかれましては、清々しく希望に満ちた「新春」をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私は、市長に就任して以来、さまざまな繋がりを大切にし、連携によるまちづくりを進めてまいりました。

昨年、これまで関係機関等と連携して取り組んできました京都舞鶴港の活性化が実を結び、外航クルーズ客船の入港回数が過去最高の39回を記録したほか、平成29年のコンテナ貨物取扱量は、平成23年の2倍に相当する過去最高の約1万3,000TEUを達成し、本市最大の地域資源である京都舞鶴港を活かした産業の活性化、人流・物流の拡大に大きな成果を上げました。

また、ユネスコ世界記憶遺産に

登録され、平和の尊さ・平和への祈りを発信している引揚記念館や、旧軍港四市の繋がり、軍港・鎮守府が置かれた日本近代化のストーリーが日本遺産に認定された赤れんがパークなどの優れた歴史・文化を活かした観光戦略も成果を上げ、昨年中に本市へ訪れていた交流人口は、市が目標としている300万人に手が届くところまで増加し、平成23年の約2倍、過去最高となりました。

**広**域連携では、京都府北部5市2町を「あたかも一つの30万人都市圏」として、観光、教育、医療、交通、産業、移住・定住、雇用など、さまざまな分野を連携により機能させる「京都府北部地域連携都市圏構想」の実現に向け、本市が連携都市圏の会長市・事務局としての役割を担い、将来の指針となる「京都府北部地域連携都市圏ビジョ

「子どもが、この地域で学び、働きたいと考えるようになった」、子どもが将来の目標を持つようになった」など、嬉しい言葉をいただいております。

我々大人たちが、子ども達の成長を温かく見守り、時には厳しく鍛えることで、自らを律する「自律」と、夢の実現に向かって力強く生きる「自立」を兼ね備え、地域に深い愛着を持った大人に成長していくと確信しておりますので、今後とも皆さまとともに、地域の繋がりの中で、未来を担う子ども達の育成に邁進してまいります。

**昨**年末、大変嬉しいニュースが届きました。ユネスコ世界文化遺産の審査にも関わるICOMOS(国際記念物遺跡会議)の国内委員会が選ぶ、後世に残したい近現代の文化遺産「日本の20世紀遺産20選」に「舞鶴の海軍施設と都市計画」が、「東海道新幹線」や「青函トンネル」などとともに選定されました。私は、先人の英知と努力により築かれてきた重要な歴史の上に立って生きていることを誇らしく思うとともに、このまちの優れた歴史や文化を、しっかりと未来を担う子ども達に繋いでいきたいと思えます。

折しも、今年、平成30年(201

ン」を策定し、北部地域全体の連携強化と活性化に取り組んでまいりました。

こうした連携によるまちづくりは、地方自治の充実発展に寄与している取り組みであると国に認められ、昨年、舞鶴市は、地方自治の進展と住民福祉の増進に努めた自治体に贈られる「地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰」を受賞しました。

これらの成果は、市民の皆さまをはじめ、関係機関等との繋がり、連携の賜物であり、広く感謝を申し上げるとともに、皆さまと共に進めてまいりましたまちづくりは全国でも先進的な取り組みの一つであり、進めてきた方向に間違いがないことを改めて確信し、これま

8年)は、明治150年を迎える年であります。明治期において日本の近代化を大きくリードした本市の歴史ストーリーは、ほかにはない誇れる地域資源であり、来る1月17日には、国のキックオフ事業にも位置付けられた「明治150年・旧軍港市日本遺産フォーラムin東京」を開催し、広く全国に発信することとしております。このように先人たちが我々に繋いでくれた今を、さらに魅力あふれる「未来」へと繋げられるよう、また、先人たちが経験されたものとは異なる試練を乗り越え、未来の舞鶴市の進むべき道を切り開いていけるよう、地域や人との繋がりを大切にし、広く連携の輪を広げ、さらなる飛躍を目指してまいりますので、引き続きご理解ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



舞鶴市長 多々見良三